



TOYODA GOSEI

2024年9月19日

インド南部でセーフティシステム製品・内外装部品の工場を新設

豊田合成株式会社(本社:愛知県清須市、社長 兼 CEO:齋藤克巳)は、インドにおける、自動車生産の拡大に対応するため、カルナタカ州ハロハリに工場を新設します。

新工場は、主要なお客様である日系カーメーカーの生産能力の拡大に伴い、需要が伸びるエアバッグやハンドルなどのセーフティシステム製品とコンソールボックスなどの内外装部品の生産を2026年から開始する予定です。効率的なモノづくりを追求するため、協働ロボットとからくり技術を組み合わせて投資コストを抑制しつつ自動化を実現する「賢い自動化工程」^{※1}や、省エネ効果の高い生産設備などを導入します。また、既存のテクノパーク工場にも、バンパー、インストルメントパネルなどの内外装部品の生産設備を増設し、インド南部で最適な生産体制を構築します。なお、新工場は当社のグループ会社である豊田合成サウスインド株式会社

の分工場として新設します。インドでは、自動車市場としての急速な発展に伴う交通事故の増加を背景に、当社の主力製品であるエアバッグの需要が拡大しています。さらに昨今、多目的スポーツ車(SUV)の人気も高まっており、カーメーカーも生産能力の拡大を進めています。当社は、同国を重点市場と位置付け、今後も開発・生産体制を整え、安心・安全で快適なモビリティ社会の実現に貢献していきます。

※1 からくりとは、てこやバネなどのシンプルな機構で動力を得る日本古来の技術。当社グループではタイ拠点で開発した「賢い自動化工程」の他地域への展開を進めている。

新工場の概要

所在地	インド国 カルナタカ州 ハロハリ
面積	土地 約 40,000 m ²
	建屋 約 18,000 m ²
生産品目	セーフティシステム製品 (エアバッグ・ハンドル) 内外装部品 (コンソールボックス・ピラー)
生産開始	2026年1月(予定)
従業員数	約 580名(27年時点)
主な設備	・電動成形機 ・ハンドル工程 (ダイキャスト・ウレタン成形設備) ・自動搬送機 ・太陽光発電パネル
投資額	約 20億 5,000万ルピー(約 35億円 ^{※2})

※2 1ルピー=1.7円で計算(2024年8月30日現在)

豊田合成サウスインド(株)の概要

設立	1998年9月
資本金	3億400万ルピー
所在地	インド国 カルナタカ州
従業員数	1,290名(2024年3月末)

新工場完成イメージ



インドにおける生産・開発拠点

